

# 令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	1	学校名	奈良商工高等学校
----	---	-----	----------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) プロジェクト探究1年 (2) プロジェクト探究2年
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 総合的な探究の時間1単位として実施。 話す力、聞く力を中心に他者と協働する力を身につける事を目指した。 (2) 総合的な探究の時間2単位として実施。 学年を25のテーマに分け、32グループを各担当者がファシリテーターとして「身近なモノコト」についての活動し、地域の課題について学習した。
連携・協働相手	奈良商工会議所青年部、奈良学園大学、畿央大学、奈良市役所危機管理課、フードバンクなら、春日山原生林を未来につなぐ会、辰市保育園、にじいろ、稲垣茶道教室、柏木第2自治会など。
地域と共有している目標・課題等	商工会議所青年部(以下 青年部)が活動する奈良の未来を考えるイベントと協働し、高校生としての意見や提言を行い、地元奈良への理解を深め自分たちの問題として取り組む。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	(1) 決められたテーマについて自己の考えを発言し、他者の意見を尊重しながら協働して課題解決することを身につけた。自分達の考えや意見をまとめ他者に伝えることができた。 (2) 地域の抱える問題について多種にわたり取り組んだ。奈良市危機管理課やフードバンク奈良や柏木第2自治会などと連携し、自分ゴトとして取り組めた。各班の成果発表動画を視聴し相互評価を行った。最も評価が良かった発表動画に対して表彰を行う予定である。

## 2. 事業の成果と課題

(1) 発言力や傾聴力を身につけ、他者と協力して課題解決することを学んだ。 (2) 身近なモノコトを探究することにより、地域への理解が深まり興味関心をもつことができた。地域社会の人たちと協働することの大切さを学んだ。来年度は是非3年生の商工連携課題研究へと繋がるようにしたい。また、「身近なモノコト」というテーマのもとに地元に着した活動を目指し、全学年での成果発表会を実施したい。
---



商工会議所青年部との連携



なら奈良まつり 参加